

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【1班】

地区コミ	南瀬地区コミュニティ協議会	参加人員	37人
開催日時	平成26年 1月20日（月） 19:00 ～ 20:40		
開催場所	南瀬地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	谷津 由尚	○	
	瀬尾 和敬	○	記録
	江口 是彦	○	進行
	議員名	出欠	担当
	福田 俊一郎	○	
	福元 光一	○	記録
	徳永 武次	—	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 中山間地域の有害獣対策について

《意見交換の概要》

- ◆ シカ、イノシシの被害に対して、これまでの防護柵設置の経緯としては、高齢化により設置作業が大変で、自分たちでは設置はできない状態になっている。
- ◆ 業者に設置を依頼するが、設置費用の負担が生じる。負担がないようにしてもらいたい。昨年までは県の補助があり手出しは無かった。今はこの県の補助がなくなり、市の補助金（1日6,000円）だけでは不足し手出しが生じるので、全額を助成金で設置できるようにして欲しい。
- ◆ これからも高齢者の農業ができるように、手出しの無い施工費用の補助を希望する。
- ◆ シカは大隅半島には少なく、北薩が特に多いのである。県は補助金の配分を考えて、地域によって格差をつけてもらいたい。（北薩地域に重点的に配分を希望する）
- ◆ 市の助成金では足りない。だから県の助成金が必要。
- ◇ 助成金について、県の方への確認をするので、しばらく時間が欲しい。
- ◇ これまでの政策は防護柵中心であり、鳥獣の個体数に対する対策は従来通りだった。しかし、平成25年は国の政策で捕獲報償金の助成が出ており、この結果、平成25年度は、前年度比で約2倍の捕獲量となる見込みである。この政策は、個体数を減らすという根本対策になるため、効果としては大きいと思っている。国の報奨金助成が平成26年も継続されることを願っている。
- ◆ 捕獲のためのワナの資格は簡単に取得できるのか。
- ◇ 各地で講習会が開催されており、比較的簡単に資格は取得できる。講習会開催の場合は、事前に案内するようにする。
- ◆ 鳥獣防護柵を使用としても、地権者が高齢者等で「柵を設置しない」など、設置できないケースがある。そのような場合どうすればいいのかを検討して欲しい。

2 高齢化に伴う自治会のあり方

《意見交換の概要》

- ◆ 少子高齢化による過疎化が進み、集落は高齢化の一途となっている。若い人たちが住めるような雇用もないし、このままでは自治会での活動は自力ではできなくなる。どうすればいいのか。
- ◆ 若い人が住むような良い考えはないのか。半分以上の自治会がゴールド集落である。自治会によっては景観などの補助金があるが高齢化で事業はできない。

- ◇ 自治会の合併を行って、人手の確保を行う方法が最善策と思う。
- ◆ 自治会が合併すると行政も応援しますと言うが、合併に向けた協議には、行政は一步も踏み込んでこない。そんなことでどうやって合併できるのか。合併できるまでの間を取り持つくらいのことを、行政はしなきゃならないはずだ。一步も二歩も踏み込んできて、合併に対して法的、人的なことを含め、もっと調整をしてほしい。行政や議会の怠慢ではないか。
- ◇ 合併は、合併される対象の自治会の方々が、お互い本当に納得して行わなければ、その後が成功しない。行政が何もしないと言われるが、その前に、本当に自分たちが納得できるまで、お互いに協議を進めて、自分たちの意思で合併をするところまでを決めなければ、お互いが不幸になる。一番大事なところがここである。これを理解して欲しい。その上で行政への協力依頼だと思う。最初から行政が間に入って、本当にお互いが納得できる形にはなかなかならない。
- ◇ 自分達で何かをやるという気持ちが必要ではないか。南瀬の特徴を生かして頑張ってもらいたい。自治会単位で、自主事業などを考えられてはどうか。将来を考えて取り組まれることは、地域の活性化に対して大変効果のあることである。何をするのかは皆さんで見つけなければならない。その上で、将来に亘り継続できることを立ち上げて欲しい。
- ◆ 行政の対応が悪い。自治会の合併等については、もっと親身になって考えてくれればいいのか、結果だけを待っている姿勢である。こちらは結果を出せなくて相談したいのに、これでは話にならない。

3 雇用の件

《意見交換の概要》

- ◆ 子供達が県外からふるさとに帰って来た時に、薩摩川内市は働く所があるのか。魅力ある薩摩川内市になっているのか。
- ◇ 富士通跡地に雇用が生まれる企業を誘致する計画である。また、川内駅の東口にある市有地を有効利用して雇用が生まれるように計画をしている。企業誘致に関しては、地域成長戦略促進補助金を最高10億円を用意し、誘致企業をサポートする用意がある。

4 その他のご意見

- ◆ 県道白浜～天辰間の狭あい部分の道路の拡幅をしていただきたい。天辰の途中まできれいに整備されている。
- ◇ 現在天辰第1工区の区画整理事業をやっている。ここが完了次第、第2工区へと着手する予定である。現在残っている狭あい部分の道路については第2工区の区画整理事業を進める中で整備する計画である。
- ◆ それはすぐにできるのか。早く進めて欲しい。
- ◇ 国交省の予算等の関係から、今後まだ時間がかかると思われる。
- ◆ 広報に東郷地域の「買い物不便地域支援モデル事業」が載っていたが、いいことなので今からも進めてほしい。
- ◆ 平成18年7月の大雨災害後、川内川は激特による改修工事が行われた。しかし、支流である山田川はほとんど手付かずのまま。川内川の水位が上がった場合、山田川への逆流が起こり、周辺地域の浸水被害が起こる（過去も起こっている）。今後対策はどうなるのか、県に確認をして欲しい
- ◇ 確認するので時間が欲しい。

- ◆ 支所の統廃合の件は、どうなっているか。
- ◇ 現在は、支所内の課の編成の見直しをしてスリム化する計画であり、支所自体の廃止の計画は無い。過去議会でも問題視した経緯があり、今後もこの件は注視していく。

- ◆ 東郷地域の小中一貫校の件で、計画では平成27年開校との説明だったが、本当にできるのか。いつになるのか。
- ◇ 平成23年の東日本大震災による国の予算の関係から、延び延びになっている
- ◆ モデル校としての建設促進をお願いします。
- ◇ 廃校後の施設利用について、ルールが厳しすぎると聞いている。これは最初の話と違う。

《要望のまとめ》

【県への要望】

- 1、県の有害鳥獣防護柵設置補助金について、昨年までの額に戻してほしい。
- 2、鹿は薩摩半島の方が多く、助成金の配分も一律ではなく、薩摩半島にウエイトを置けないか。
- 3、激特事業の結果、川内川の流量増加対策は整備されたが、一方で支流への逆流が懸念される。川内川からの逆流対策として、山田川への対策はどうなっているか。
(平成18年7月の大雨の際も、相当な浸水災害があった)

【市への要望】

- 1、有害鳥獣捕獲用のワナについての講習会開催の場合、事前連絡をお願いします。
- 2、小中一貫校のその後について情報がない。当初の予定で可能か否か、不可能の場合はいつになるのかを報告会等開催して連絡して欲しい。